

ソフトウェア・シンポジウム 2015



～ソフトウェア開発の未来～

場所：(本会議) 県民交流プラザ・和歌山ビッグ愛
主催：ソフトウェア技術者協会 (SEA)

6/15 (月曜日)	6/16 (火曜日)	6/17 (水曜日)
6/14 (日曜日) 併設イベント 『思いがけない発見 III (serendipity across space)』 [和歌山大学]	9:00 ~ 10:00 [各会場 (p.2参照)] ※4 Future Presentation, 論文・報告 ※5	9:00 ~ 12:00 [各会場 (p.3参照)] ※4 ワーキンググループ ※6
	10:15 ~ 11:15 [各会場 (p.2参照)] Future Presentation, 論文・報告	
	11:30 ~ 12:30 [各会場 (p.2参照)] Future Presentation, 論文・報告	(コーヒータイトム)
12:40 ~ 受付 [1F 大ホール前] ※1		
13:10 ~ 13:25 [大ホール] オープニング 実行委員長挨拶 新谷 勝利 (新谷 IT コンサルティング) プログラム説明 小笠原 秀人 (東芝)		13:00 ~ 14:00 [大ホール] SS2015ふりかえり 司会: 小笠原 秀人 (東芝)
13:25 ~ 15:10 [大ホール] オープニングキーノート 『データセンターとソフトウェア開発』 さくらインターネット 代表取締役社長 田中 邦裕 氏 司会: 新谷 勝利 (新谷 IT コンサルティング)	14:00 ~ 17:00 [各会場 (p.3参照)] ワーキンググループ ※6	14:15 ~ 16:00 [大ホール] クロージングキーノート 『和歌山から宇宙へ』 和歌山大学観光学部 / 「教養の森」センター 教授 尾久土 正己 氏 司会: 鯉坂 恒夫 (和歌山大学)
(コーヒータイトム) [各フォーラム会場]		
15:40 ~ 17:30 ※2 フォーラムセッション 1 [201会議室] 『「アンチユビキタス・テリトリーマシ (偏在的居場所機械)」としての人間』 藤本 憲一 氏 (武庫川女子大学) 司会: 鯉坂 恒夫 (和歌山大学)		16:00 ~ 16:15 [大ホール] クロージング 表彰 西 康晴 (電気通信大学) 実行委員長挨拶 鯉坂 恒夫 (和歌山大学)
フォーラムセッション 2 [801会議室] 『メンバの成長を促進する組織 マネジメント』 細谷 泰夫 氏 (三菱電機) 司会: 栗田 太郎 (ソニー)		
18:00 ~ 20:00 [602, 603 会議室] 情報交換会 ※3 司会: 田中 一夫 (アーティス情報システム)		

※1：1日目の15:00以降、2日目全日、3日目全日の受付は、505 会議室になります。
誰もいない場合は、070-6429-0240 にお電話ください (この電話番号は、会期中にしかつながりません)。

※2：フォーラムセッション1と2は並行して行います。どちらに参加していただいても構いません。

※3：情報交換会は18:00には「開始」します。お早めにおいでください。

※4：2日目、3日目はともに、8:45に開場します。

※5：Future Presentationと論文・報告発表は並行して行います。どちらに参加していただいても構いません。

※6：時間は会議室が利用できる時間帯を示しています。運営方法はWGごとに異なります。
詳細は各WGのリーダーまでお問い合わせください。

WGリーダーは、鍵を、火曜日は13:40以降に、水曜日は8:40以降に505会議室まで取りにきてください。
終了後は設備を元どおりにし、鍵を、火曜日は17:20までに、水曜日は12:20までに505会議室に持ってきてください。

プロジェクトを事務局がお貸しするWGには、火曜日に鍵と一緒にお渡しします。
そのまま各自保管して、水曜日に鍵と一緒に返却してください。

時間	802 会議室	602 会議室	504 会議室	501 会議室
9:00～ 10:00	Future Presentation 1 (FP-1)	要因分析/チームビルド (C1-1)	不具合分析/信頼性 (C2-1)	要求/計画・見積もり (C2-2)
10:15～ 11:15	Future Presentation 2 (FP-2)	形式手法 (C1-2)	開発管理 (C1-3)	プロセスの実践と評価 (C2-3)
11:30～ 12:30	Future Presentation 3 (FP-3)	テスト (C1-4)	プロセス (C1-5)	教育/要件開発/欠陥予測 (C2-4)

◆ 6/16 (火曜日) 9:00 ～ 10:00

Future Presentation 1 [802 会議室]

『ソフトウェア工学に関する研究を発展させるためには』

落水 浩一郎 (金沢工業大学)

司会: 発表者と小田 朋宏 (SRA) 発表時間 10 分間, 議論 50 分間です。

論文・報告 C1-1 「要因分析/チームビルド」 [602 会議室]

[研究論文] 『反復プロセスと欠陥モデリングによるソフトウェア要因分析の改善 ～アジャイルな RCA の導入とその効果～』

永田 敦 (ソニー)

[経験論文] 『職種を超えた連携におけるチームビルディング適用とその効果評価』

山川 紘明 (デンソーテクノ)

司会: 田中 康 (東京工業大学) 発表時間 20 分間, 議論 10 分間です。

論文・報告 C2-1 「不具合分析/信頼性」 [504 会議室]

[研究論文] 『バイトコードを用いたテキスト分類による不具合予測』

藤原 剛史, 水野 修 (京都工芸繊維大学)

[研究論文] 『Blocking Bug の発生原因を理解するための依存関係分析』

金城 清史, 山谷 陽亮, 松本 明, 大平 雅雄 (和歌山大学)

[研究論文] 『報酬構造を考慮したテストケース生成と信頼性評価の効率性』

小澤 公貴, 土肥 正 (広島大学)

司会: 松本 健一 (奈良先端科学技術大学院大学) 発表時間 13 分間, 議論 7 分間です。

論文・報告 C2-2 「要求/計画・見積もり」 [501 会議室]

[研究論文] 『ユーザ視点に基づいたソフトウェアアップデート計画に関する一考察』

岡村 寛之, 中原 良太, 土肥 正 (広島大学)

[研究論文] 『ソフトウェア開発工数見積もりにおける外れ値の実験的評価』

小野 健一, 松本 健一 (奈良先端科学技術大学院大学), 角田 雅照 (近畿大学), 門田 暁人 (岡山大学)

[研究論文] 『要求のヌケ・モレを防ぐためのゴール分解方法の提案と実験 - ソフトウェア・シンポジウム2014 WG3の事例 -』

岡野 道太郎 (筑波大学), 中谷 多哉子 (放送大学)

司会: 松尾谷 徹 (デバッグ工学研究所) 発表時間 13 分間, 議論 7 分間です。

◆ 6/16 (火曜日) 10:15 ～ 11:15

Future Presentation 2 [802 会議室]

『Agile XDDP』

八木 将計 (日立製作所), 会田 圭司 (テクマトリックス), 石川 宏保, 山田 謙輔 (派生開発推進協議会T6研究会),

齋藤 賢一 (エクスマーション), 永田 敦 (ソニー), 星野 充史 (アンリツエンジニアリング)

司会: 発表者と野村 行憲 (アイシーエス) 発表時間 10 分間, 議論 50 分間です。

論文・報告 C1-2 「形式手法」 [602 会議室]

[研究論文] 『VDM-SL 実行可能仕様による Web API プロトタイピング環境』

小田 朋宏 (SRA), 荒木 啓二郎 (九州大学)

[事例報告] 『大規模複雑化した組込みシステムのための障害診断における形式手法の適用事例報告』

岡野 浩三 (信州大学), 北道 淳司 (会津大学)

司会: 日下部 茂 (九州大学) 発表時間 20 分間, 議論 10 分間です。

論文・報告 C1-3 「開発管理」 [504 会議室]

[研究論文] 『ソフトウェア開発状況の把握を目的とした変化点検出を用いたソフトウェアメトリクスの時系列データ分析』

久木田 雄亮, 柏 祐太郎, 大平 雅雄 (和歌山大学)

[研究論文] 『スパムフィルタに基づく即時バグ予測ツールの試作』

森 啓太, 水野 修 (京都工芸繊維大学)

司会: 天寄 聡介 (岡山県立大学) 発表時間 20 分間, 議論 10 分間です。

論文・報告 C2-3 「プロセスの実践と評価」 [501 会議室]

[経験論文] 『チームビルディング活動の効果測定 ～事例 10 年間の活動成果～』

増田 礼子 (フェリカネットワークス), 森本 千佳子 (東京工業大学), 松尾谷 徹 (デバッグ工学研究所), 津田 和彦 (筑波大学)

[経験論文] 『大学機関調査研究 IR へのデータ管理成熟度モデル DMM の軽量の適用』

日下部 茂, 大石 哲也, 森 雅生, 高田 英一 (九州大学)

[経験論文] 『オンデマンド受注生産システム開発へのサービスデザインの適用』

宗平 順己 (ロックオン)

司会: 小笠原 秀人 (東芝) 発表時間 13 分間, 議論 7 分間です。

◆ 6/16 (火曜日) 11:30 ~ 12:30

Future Presentation 3 [802 会議室]

『クラウド・ビッグデータとソフトウェアエンジニアリング』

鯨坂 恒夫 (和歌山大学)

司会: 発表者と西 康晴 (電気通信大学) 発表時間 10 分間, 議論 50 分間です。

論文・報告 C1-4 「テスト」 [602 会議室]

[研究論文] 『Concolic Testing を活用した実装ベースの回帰テスト 人手によるテストケース設計の全廃』

松尾谷 徹 (デバッグ工学研究所), 増田 聡 (日本IBM), 湯本 剛 (日本HP), 植月 啓次 (フェリカネットワークス), 津田 和彦 (筑波大学)

[経験論文] 『安全系組込ソフトウェア開発におけるユニットテストの効率化』

岸本 渉 (デンソー)

司会: 鈴木 正人 (北陸先端科学技術大学院大学) 発表時間 20 分間, 議論 10 分間です。

論文・報告 C1-5 「プロセス」 [504 会議室]

[経験論文] 『標準プロセスを肥大化させない補完型チケット駆動開発の提案』

阪井 誠 (SRA)

[研究論文] 『機械学習を用いたテキスト分類によるライセンス特定のためのルール作成プロセス支援』

東 裕之輔, 大平 雅雄 (和歌山大学), 眞鍋 雄貴 (熊本大学)

司会: 鈴木 裕信 (鈴木裕信事務所) 発表時間 20 分間, 議論 10 分間です。

論文・報告 C2-4 「教育/要件開発/欠陥予測」 [501 会議室]

[経験論文] 『ソフトウェアアーキテクチャの授業での取り上げ方について』

小林 洋 (東海大学)

[経験論文] 『要件開発プロセスへの PReP モデルの適用』

田中 康 (ケイプラス・ソリューションズ/東京工業大学), 後神 義規 (日立製作所), 光井 邦雄 (クラリオン)

[研究論文] 『ソフトウェア欠陥数予測におけるトービットモデルの適用』

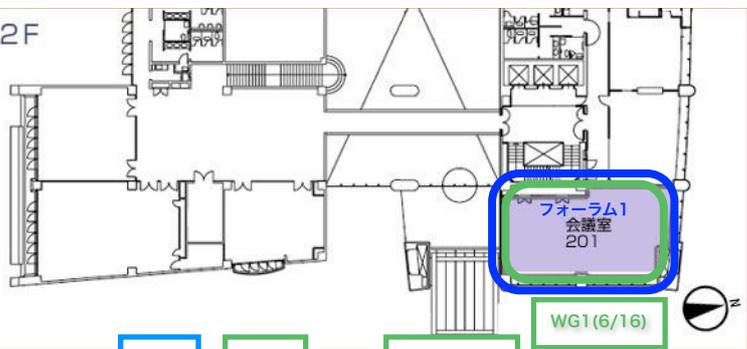
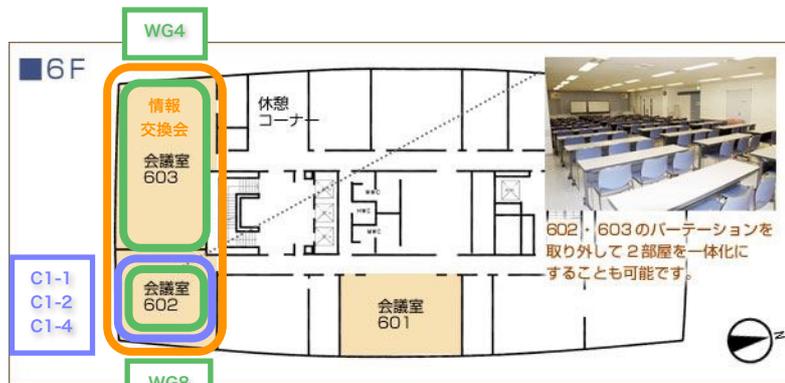
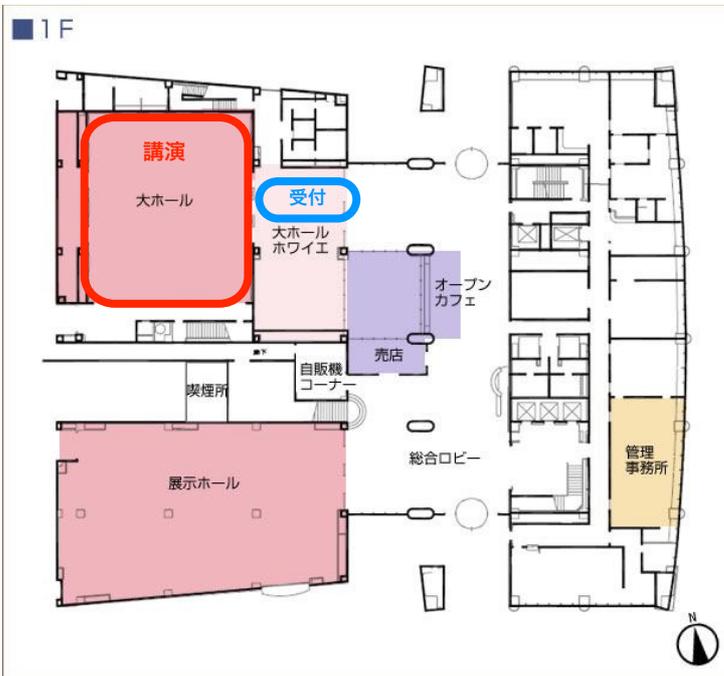
村上 優佳紗, 角田 雅照 (近畿大学), 戸田 航史 (福岡工業大学)

司会: 八木 将計 (日立製作所) 発表時間 13 分間, 議論 7 分間です。

ワーキンググループ 6/16 (火曜日) 14:00 ~ 17:00, 6/17 (水曜日) 9:00 ~ 12:00

WG 1 (DC) : D-Case	[6/16 (火曜日) 201 会議室] [6/17 (水曜日) 506 会議室]
WG 2 (SS) : ソフトウェアと社会	[1203 会議室]
WG 3 (ED) : ソフトウェア技術者はどうしたら育つか?	[501 会議室]
WG 4 (MT) : ソフトウェア保守の覚醒	[603 会議室]
WG 5 (TA) : チーム活動の成果を眺める ～人材系のためのメトリクスと分析ツール入門～	[503 会議室]
WG 6 (RV) : レビュー	[505 会議室]
WG 7 (EN) : 開発手法・開発環境の現場導入の現実	[504 会議室]
WG 8 (FM) : 形式手法 VDM の例題と実践	[602 会議室]
WG 9 (TT) : 電脳テスト道具の活用: Concolic/Symbolic Testing	[502 会議室]
WG 10 (SD) : 品質要求を USDM で表現してみよう!	[6/16 (火曜日) 801 会議室] [6/17 (水曜日) 1202 会議室]
WG 11 (RQ) : 要求抽出のために: ゴール分解の実践	[802 会議室]

【会場案内】



会場に関連した注意事項

- ・受付について
1日目の15:00以降、2日目全日、3日目全日の受付は、505会議室になります。
誰もいない場合は、070-6429-0240にお電話ください(この電話番号は、会期中にしかつながりません)。
- ・WG会場について
WG1(DC)とWG10(SD)は、6/16と6/17で会場が異なりますので、ご注意ください。
(WG1(DC) 6/16:201会議室, 6/17:506会議室)
(WG10(SD) 6/16:801会議室, 6/17:1202会議室)
- ・会場施設案内
WGリーダーは、鍵を、火曜日は13:40以降に、水曜日は8:40以降に505会議室まで取りにきてください。
終了後は設備を元どおりにし、鍵を、火曜日は17:20までに、水曜日は12:20までに505会議室に持ってきてください。

最新情報について

SS2015の最新情報は、随時Webページに掲載いたします。公式ページの「新着情報」をご覧ください。
<http://sea.jp/ss2015/news.html>

